

上川北部森林管理署管内朝日国有林で

天然更新の活用現地検討会を開催

日時： 平成27年7月24日（金） 10:30～12:30

会場： 上川北部森林管理署2069林班と小班 朝日天然林施業試験地

主催： 森林総合研究所北海道支所、上川北部流域森林・林業活性化協議会、
北海道森林管理局森林技術・支援センター

内容：

北海道支所は北海道森林管理局森林技術・支援センターと共同で「天然林での樹種の多様化を図る更新方法の開発」に取り組んできました。本研究は、多様な樹種の天然更新を得るための更新補助作業として、択伐後の天然林内において小規模な地がきや根返しを実施し、その結果をもとに更新補助技術の開発を行うことを目的としており、平成21年に調査地を設定しその後毎年調査を行ってきました。

本検討会では、昨年秋までに実施した5年間の調査結果をもとに、現地での説明を行いました。現地の更新状況をみると、光条件の違いにより更新樹種や成長の違いが明瞭に現れていました。更新初期段階ではありますが、今回実施した更新作業は林床にクマイザサが繁茂する天然林における更新確保法として有効ではないかと考えられました。

参加者は民有林関係者、国有林関係者をあわせ100名近くに及び、全体を通して活発な意見交換が行われ、今後の研究の進展に向け有意義な検討会になりました。

